

平成30年度版

実施検査報告書

新発田市

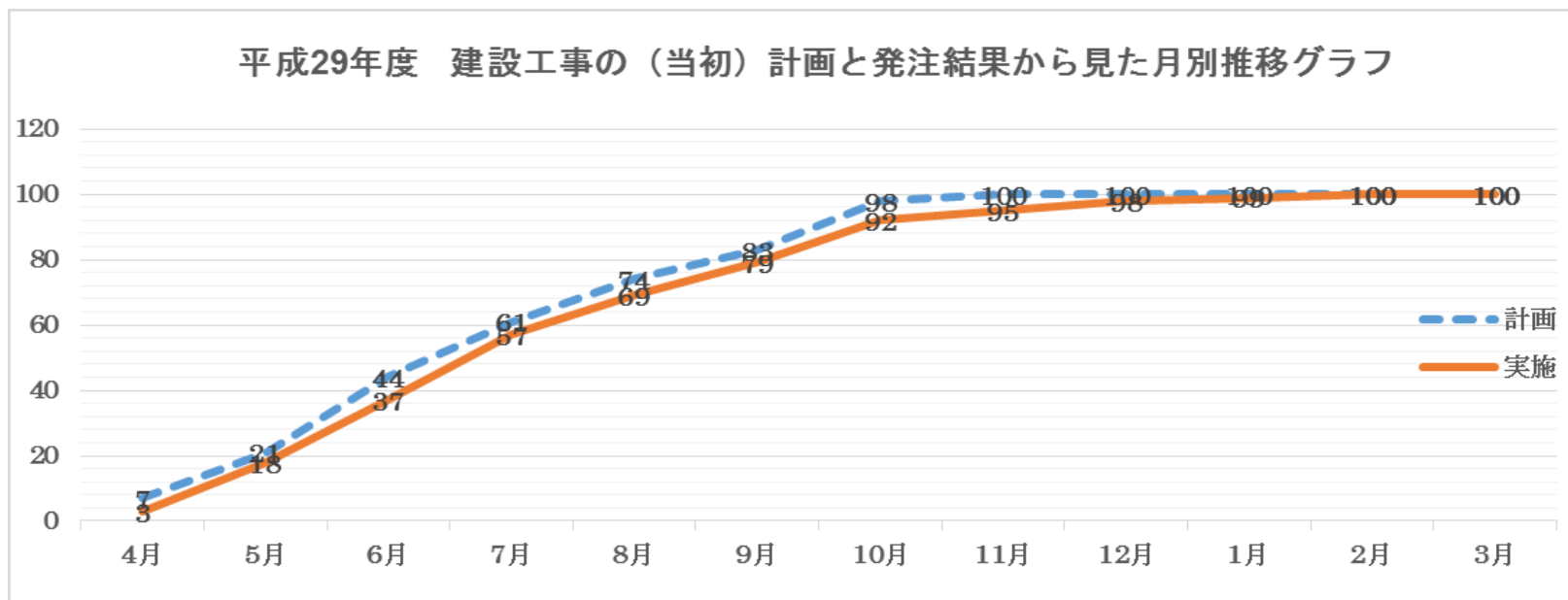
契約検査課工事検査室

報告項目

1. 平成29年度 工事検査実績件数
2. 平成29年度 建設工事の(当初)計画と発注結果から見た月別推移グラフ
3. 成績優秀工事(べすと27) * 工事成績評定点80点以上
4. 参考資料 * 新発田市建設工事優良施工業者等表彰要綱(抜粋)
5. 先進的な取り組みで他の模範となる事例

平成29年度 工事検査実績件数

課・局 名	工事検査実績件数(件)	最終請負額500万円以上の件数(件)	最高点数(点)	平均点数(点)	最低点数(点)
地域安全課	3	1	76	76	76
農林整備課	3	3	79	79	79
建築課	36	33	88	75	52
地域整備課	59	42	84	76	66
総務課	2	1	77	77	77
下水道課	66	56	84	77	66
水道局	31	20	82	75	60
合 計	200	156			



注1) 発注実績とは、平成29年4月1日から平成30年3月31日の間に、契約検査課にて執行されたものです。

(当初)契約件数:200件

注2) 水道局発注分も含まれています。

成績優秀工事（べすと27）

【工事成績評定点80点以上】

建築課

番号	工種	工事番号	工事名	施工地	施工者	検査日	成績評定点	施工実績件数
1	建築	教受第1号	東小学校普通・特別教室棟建設(建築本体)工事	五十公野	(株)伊藤組	29.12.20	88	4
2	建築	教受第2号	東小学校管理・特別教室棟建設(建築本体)工事	五十公野	(株)石井組	29.12.20	88	2
3	電気	教受第3号	東小学校校舎建設(電気設備)工事	五十公野	(株)ミトモ電設	29.9.29	83	4
4	管	教受第5号	東小学校校舎建設(空調設備)工事	五十公野	新発田水道工事(株)	29.9.28	81	4
5	建築	教受第1号	紫雲寺地区公民館外部改修第二期工事	稻荷岡	(株)岩村組	29.11.21	80	2

地域整備課

番号	工種	工事番号	工事名	施工地	施工者	検査日	成績評定点	施工実績件数
1	土木	地観受第1号	月岡温泉景観整備工事	月岡温泉	豊浦建設(株)	29.6.2	80	5
2	土木	街環補第3号	街なみ環境整備事業(寺町・清水谷地区)護岸整備工事	中央町2	(株)中村組	29.4.28	81	4
3	さく井	除雪第3号	五十公野岩井戸石喜線さく井工事	五十公野	新菫工業(株)	29.9.12	81	12
4	土木	除雪第2号	中央公園線他消雪パイプ打換工事	中央町2 他	(株)中村組	30.1.16	84	4

下水道課

番号	工種	工事番号	工事名	施工地	施工者	検査日	成績評定点	施工実績件数
1	土木	下補線第1号	新発田北部処理分区(401他4)管渠工事	城北町2	(株)伊藤組	29.10.23	83	4
2	土木	下複第4号	新発田東部処理分区(786-1他7)管渠工事	五十公野	(株)熊倉組	30.2.20	82	1
3	土木	下单第2号	新発田東部処理分区(746他6)管渠工事	五十公野	(株)クレド	29.11.30	82	3
4	土木	下单第3号	新発田東部処理分区(723-3他12)管渠工事	五十公野	(株)馬場工務店	30.2.15	84	3
5	土木	特加単第3号	加治川処理区(3123他3)管渠工事	向中条	(有)島津管工	29.11.22	82	3
6	土木	下豊複第1号	豊浦北部第4処理分区(78-1他4)管渠工事	大伝・乙次	(株)加賀田組下越営業所	30.2.28	84	4
7	土木	特加単第4号	加治川処理区(3157他6)管渠工事	向中条	(株)泰豊建設	30.1.9	80	1
8	土木	下单第7号	新発田北部処理分区(471他7)管渠工事	城北町2	(株)菊地組	30.2.22	81	1
9	土木	下单第8号	新発田中央処理分区(3035他6)管渠工事	御幸町4	(株)長谷川建設	30.2.23	80	1
10	土木	下複第6号	新発田北部処理分区(439-3他12)管渠工事	城北町1	(株)石井組	30.3.22	83	2
11	土木	雨単第1号	大手町雨水枝線整備その2工事	大手町1他	(株)中村組	30.1.19	81	4
12	機械器具	下紫補第4号	紫雲寺藤塚浜処理分区(911-1)マンホールポンプ設置工事	藤塚浜	(株)ミツル電工	30.2.14	81	2
13	土木	下单第13号	新発田中央処理分区(1049他1)管渠工事	御幸町4	(株)高橋建設	30.3.7	81	3

水道局

番号	工種	工事番号	工事名	施工地	施工者	検査日	成績評定点	施工実績件数
1	電気	配水第1号	内竹配水場配水ポンプ他設備更新工事	下内竹	大進電業(株)	30.2.27	82	2
2	土木	配水第2号	内竹配水場第1配水池耐震化工事(第2期工事)	下内竹	新発田建設(株)	30.2.23	82	3
3	土木	改整第1号	配水管入替29-1工区(開削)工事	大手町5 他	新菖工業(株)	29.12.25	82	12
4	土木	改整第11号	配水管入替29-11工区(開削)工事	西園町1	大進電業(株)	29.11.14	80	2
5	土木	改整第10号	配水管入替29-10工区(開削)工事	小見他	(株)馬場工務店	30.3.26	80	3

参 考 資 料

新発田市建設工事優良施工業者等表彰要綱(抜粋)

(推薦の基準及び方法)

第6条 第3条各号に掲げる表彰に係る被表彰者の推薦基準は、次のとおりとする。

(1) 優良建設工事表彰

ア A基準

- (ア) 対象工事の施工実績を3件以上有すること。
- (イ) 対象工事の施工実績のうち、新発田市請負工事成績評定実施要領に基づく成績評定点(以下「評定点」という。)が80点以上の建設工事を1件以上有し、かつ、65点未満の建設工事を有しないこと。
- (ウ) 推薦を行う日から過去3年間において、新発田市競争入札参加有資格者指名停止等措置要綱(平成19年新発田市告示第90号。以下「指名停止要綱」という。)の規定による指名停止を受けていないこと。
- (エ) 推薦を行う日から過去2年間において、指名停止要綱第10条に規定する書面又は口頭での警告又は注意の喚起を受けていないこと。

イ B基準

- (ア) 対象工事の施工実績が1件又は2件であること。
- (イ) 対象工事(A基準又はC基準で表彰される建設業者の対象工事を除く。)を建設工事の種類(法別表第一の上欄に掲げる建設工事の種類をいう。)別にしたときに、いずれかの建設工事の種類において最も高い評定点である施工実績を有していること。
- (ウ) アの(イ)から(エ)までに同じ。

ウ C基準

- (ア) 対象工事が特定建設工事共同企業体の施工であること。
- (イ) 対象工事の評定点が80点以上の建設工事であること。
- (ウ) 特定建設工事共同企業体としてアの(ウ)及び(エ)に該当すること。
- (エ) 特定建設工事共同企業体の構成員のいずれかが、アの(ウ)及び(エ)のいずれかに該当する場合又は対象年度において評定点65点未満の建設工事を有する場合は、当該構成員のみ表彰を行わない。

(2)、(3)は省略。

先進的な取り組みで他の模範となる事例

No	
1	◆社内検査を実施し、竣工検査に備えていた。
2	◆交通整理員を配置して、竣工検査を受検していた。
3	◆施工の安全を確認するために、元請負としてのパトロールと現場の点検をして、かつ下請負業者にも独自にパトロールと点検を義務付けし、確認をしていた。
4	◆埋戻し工の施工でタンパーのみの場合と、ランマーと組み合わせたり、振動ローラーも組み合わせたいと、施工条件に合わせた最適な施工方法を実施している。
5	◆新規入場者の教育・訓練の手法に創意工夫が実践されている。
6	◆KYミーティングなど独自にマニュアル化をして施工現場で実践をしていた現場があった。
7	◆お盆や正月また5月の大型連休時の現場点検を、委託して実質的に管理している施工現場があった。
8	◆打ち合わせ簿に協議、指示、承諾別に整理しかつ時系列にまとめられた書類の整備がされた現場があった。
9	◆くい打ち現場で継ぎ杭の溶接確認を、専門業者にアウトソーシングして施工管理していた。
10	◆施工体制台帳に工事の中止、変更などすべて記入されていた現場があった。
11	◆埋設物施工現場で、ガス探知機を使用して安全性の確保に努めていた施工現場があった。
12	◆設計変更の資料で、根拠を示し安定計算書および工法比較検討書が作成され提出されていた。
13	◆過積載防止のために、荷台に目印をつけ表示・指示をしてかつ月二回程度の教育を実施している現場があった。
14	◆交通指導員の派遣職員の経歴を証明書として発給している現場があった。
15	◆下請負との契約書が一式表示から、契約内容の表示をした契約書を作成した事例が多くなり改善されてきた。
16	◆着手前の施工現場の照査作業で、独自にチェックリストを作成し契約内容及び施工条件の確認を行っていた。
17	◆下請の契約確認・引渡し検査で独自の検査チェック表(施工管理・品質管理・写真管理・出来高管理などの項目から具体的な検査内容が判明できる資料)を作成し点数化していた。
18	◆施工現場で、日々管理表を現場事務室内に掲示して、進行管理と施工管理の情報を作業員全員が共有していた。
19	◆社内目標として、進行管理で30日程度の短縮を掲げ工程管理を実践し、成果を挙げている。
20	◆緊急災害マニュアルを現場事務所に常備し、新規入場者教育で全員に説明している。
21	◆近接した現場で、協議会を結成し連絡調整に勤めて安全対策や工程管理に有効に活用していた。
22	◆施工計画書の品質管理・施工管理・写真管理などの諸基準に現地の測点等を明示した計画を作成し、実践をすることで工事目的物の品質向上を図っていた事例が多くなってきた。
23	◆冬季間の路床工事の施工にあたり、施工区間をシートで覆い含水比調整及び温度管理を行って、工期内竣工を目指した施工管理をし成果を上げていた。
24	◆中間技術検査時で、パソコンを高度に活用して提出書類の省略化に努めていた。
25	◆plan・do・check・actionを日々の出来形管理の中で実践しており、許容誤差をミクロの世界へと誘導していた。
26	◆工事内容の「見える化」実現の為、創意工夫にて数多くのものを実施しており、地域住民への気配りに積極性が見られ、住民主体の施工を心がけていた。
27	◆安全教育は、屋内だけでなく、玉賭け資格者による現場でのつり金具、ワイヤーの点検講習をおこなって、共通認識を図っていた。
28	◆KBMを8箇所設置し、測量成果簿、位置図、設置箇所写真が3点1セットで整理され、報告していた。
29	◆交通整理員に「血圧注意」の欄があり、健康チェックの跡が見えた。
30	◆整地面を理想的な勾配(0.6%)で仕上げていた。
31	◆安全日誌に、受け入れ、工程内検査の項目が設定され、下請け検査の跡が見られた。
32	◆異常気象による「作業中止基準」を細かく謳い、点検表を作成していた。

33	◆ASフィニッシャー2台を走らせホットジョイント施工を実施しており、継ぎ目が目視で確認できない程、良い施工であった。
34	◆社内決裁を受けた施工計画書が提出されており、良く纏め上げられていた。
35	◆地元協議で決定したことに、機動力をフル活動させていた。
36	◆現場密度試験の全工程が写真管理され、試験値が都度、確認できるよう整理していた。
37	◆舗装工における合材温度について「出荷⇒到着⇒敷き均し⇒締め固め」で管理していた。
38	◆現場の事前調査の徹底で、既存の水溜り箇所を改善していた。
39	◆工事概要、実施工程表、柱状図、施工体系図、段階確認、性能検査、安全管理状況等の情報について、時系列に写真、説明を添えて、1枚に纏め上げていた。
40	◆施工計画及び安全面について、社内での事前検討会議を実施していた。
41	◆測量調査結果、変更図(基準高含む)、試掘結果等、細めに変更要素を読み込んだ資料を作成し、提出していた。
42	◆施工計画書はオリジナル性に優れ、詳細なところまで良く検討されており、仕事への理解度の高さを伺える作成の工夫が見られた。
43	◆現場に特化した重点目標があり、現場の独自性(創意・工夫)を持って取り組んだ実績が良く整理され、記録されていた。
44	◆施工体系図は下請け業者の追加に伴い、3回提出されていたが、最終の3回目でも下請けは1次迄としており、全ての請負内容を把握し、現場管理に努めていた。
45	◆現場の創意・工夫提案において、23項目が提案されており、現場内、周辺環境への積極的な対応が見られた。
46	◆改良業者から舗装業者への引継ぎ時点において、路盤が高含水比であったために、下層路盤材の水分を爆気させ、品質向上を図る方策を積極的に企画し、実施していた。
47	◆大型ダンプの荷台に、積荷限界線の表示を行うことで、過積載防止の徹底を図っていた。
48	◆工期が短いという制約のなかで、3班体制での施工を企画し、工程管理の徹底により、期限内に完成させていた。
49	◆通学路の安全確保対策として、近接して施工している工事業者(3社)と安全衛生協議会を設立し、集落内の市道部(通学路)について、交通規制を含め、全体的な安全対策を協議し、実施していた。
50	◆法面の破損防止対策や、沿線田んぼへの砂利飛散防止対策等、創意工夫への積極的な対応が見受けられた。
51	◆施工計画書は、施工手順がイメージ写真付で解説しており、非常に分かりやすく纏めていた。
52	◆基礎コンクリートは、多くの数だけに、座標値にて全数管理しており、手戻りなく現場打設する工夫が見られた。
53	◆関係機関等対外関係に関する書類が、一覧表としてまとめられ、時系列に丁寧に整理されていた。
54	◆社内検査では、書類、現場とも細部まで丁寧に確認されており、良く纏められていた。
55	◆現地検査の際、それぞれの役割分担を明確に決めており、無駄のない流れで測定を行った結果、検査時間が大幅に短縮された。
56	◆気温と湿度から熱中症の危険性が発生した場合、ブザー音で知らせる「熱中症計」を現場に常備し、作業員の熱中症を防止していた。
57	◆解体工事において、騒音・振動測定を常時・連続的に測定記録し、施工管理(騒音対策・振動対策)に努めていた。
58	◆中学・高校及び短大生等を対象に、職場体験を積極的に導入し、社会貢献していた会社があった。
59	◆配管の耐圧試験に脈動圧試験を導入するなど、検査方法に工夫がなされていた。
60	◆改修工事での配管で、現場溶接工法が予定されていたが、工法検討を行い、無火気継ぎ手工法を採用するなど、安全管理重視に努めていた。
61	◆削井工において、孔内壁崩壊防止対策の一環として、泥水の比重検査をこま目に行っていた。
62	◆削井工において、ビット口径の肉盛りが「社内基準値」を外れれば、即、修正する姿勢が現場に見られた。
63	◆現場密度試験において、路床、下層、上層路盤で、7路線各3個/1箇所当たりの考え方で試料を採取し、「X9を規格値」において、専門業者に試験を委託しており、品質管理体制の充実が見られた。
64	◆下水道工事において、当日の管渠布設延長、当日の管渠基準高、翌日の管渠基準高等を一覧表としてまとめており、日常の出来形管理姿勢が伺えた。
65	◆片方の立坑を埋めてしまう路線について、段階確認の立会依頼を監督員へ行ったが、日程調整が付かなかった為、「貫通確認等」を立会手順に沿って動画撮影した後、監督員へ提出して確認を求める姿勢が現場にあった。
66	◆下水道工事において、締め固め施工が難しいと言われる、たて込み簡易土留め引き抜き時の土留め直下の締め固め施工について、仕様書に忠実に丁寧に行われていたことが確認できる現場があった。

67	◆施工計画書は、公告時の別表1「選定理由」を踏まえ作成しており、創意工夫を現場施工に活かしていた。
68	◆現場混合のセメントミルク浸透工においては、材料使用前、使用后、施工区画割り等、良く整理され施工過程が可視化されていた。また、創意工夫を持って、品質の向上に努めていた。
69	◆乳剤散布によるよごれの防止対策や、セメントミルク浸透工の施工では、徹底した養生が資料から伺え、結果して、出来栄良く仕上がっていた。
70	◆制御盤の製造過程が組み立て工程毎に、時系列に写真管理され、検査成績表も丁寧に纏められた現場があった。
71	◆バケット式スタビライザーを使用し、よい精度の高い混合物を追求した現場があった。
72	◆集水桝等点在物の出来形管理について、設計値と実績との比較判定チェックが一覧で確認できるオリジナル性が非常に高い、素晴らしい管理表を用いた現場があった。
73	◆近隣の下水道工事受注業者と安全協議会を開催したり、また、安全パトロールを合同で実施するなど、積極的な安全管理を行っていた現場があった。
74	◆下水道工事において、宅内(公共)ます設置に伴う掘削施工時に、人力掘削では難易度の高い場所については、創意工夫で、電柱設置時の掘削機械を使用して、安全かつスピーディーに作業を完了させていた現場があった。
75	◆公園工事において、来園者が自由に書き込みできる大型の「ご意見板」を設置するなど、ユニークな取り組みで市民の関心を集めていた現場があった。
76	◆工場検査前に、詳細な工場検査の実施計画書が作成されており、その計画書に基づき、確認及び検査が実施され、記録書が整備された現場があった。
77	◆鋼製建具工事において、発注者監督員、元請業者、専門業者の3者による施工チェックシートが作成されており、施工管理体制をより充実させた現場があった。
78	◆改修工事において、スリーフ施工部分でエックス線探査調査を手戻り防止対策の一環として実施した現場があった。
79	◆配管写真において、配管加工用定規と一緒に写すという、わかり易い施工写真の撮影を心がけ、提出していた現場があった。
80	◆社内規格値を超えた場合の運用方法を、フローにて判り易く纏めており、安易なミスを生じさせない様、真剣に取り組もうとする姿勢が伺えた。
81	◆圧送管の管底管理や、自然流下管の管頂300mmの管理等、ポイントをついた計画が立案され、現場管理とも整合が図られており、よい適正な管理が伺えた。
82	◆施工計画書に謳っていた電圧、絶縁、接地、照度(任意)について、各々測定基準を設定して、自主検査チェックを行い、検査成績表を提出しており、施工管理への積極的な取り組みが伺えた。
83	◆品質管理に必要なコンクリート打設整理表、性状試験、圧縮強度試験、シュミットハンマー試験、単位水量試験、初期養生温度管理等、よい適正な管理が確認できた。
84	◆厳しい現場条件のなか、施工計画中に「舗装表面の雨水処理」を考慮して、縦横断計画を提案し施工を行った結果、水たまりがなかった。事前調査の重要性を十分に認識し、施工に努めていた。
85	◆BMの位置出しに測量士を使用したり、軟弱地盤対策として、法線の見直しを早期に提起し、計画案を作成して十分な協議を行って着手しており、品質向上への積極的な取り組みが伺えた。
86	◆施工計画書に資材管理要領を定めたり、工程管理では、日常、週間、月間、全体工程と積極的な取り組みが伺え、適正な管理に努めていた。
87	◆現場密度試験は3箇所(3日)とも、土木管理総合試験所が試験を担当しており、写真も時系列に整理され厳正さが伺えた。
88	◆段階確認は1路線につき1回の頻度で15回行い、その実施予定月表示や位置図に箇所表示をして、判り易い工夫が見られた。
89	◆出来形管理、品質管理とも総括表が添付され、一目で誤差(ばらつき)が見れる様に工夫していた。
90	◆施工体系図は変更1回、2次下請3社を追加し最終としていたが、同時に公衆への掲示物も変更しており、「2m以上離れても目視確認ができること」を目標に「60cm×90cm」の大きなパネルに施工体系図をはめ込んでおり、法の精神を十分に理解した対応が伺えた。
91	◆品質管理の現場密度試験では、すべて専門のコンサルタントに委託し、書類も時系列に試験状況を纏め上げており、管理の適正さが伺えた。
92	◆品質を担保する工事写真は、「略図(ポンチ絵)」や「添え書き」等が丁寧に散りばめられ、非常に判り易く纏め上げられており、管理の適正さが伺えた。
93	◆人工芝仕上面計画基準高や、それに伴う側溝嵩上げの必要性等を積極的に提案し、事前立会を求め決定しており、よい施工に努めていた。
94	◆型枠脱型及び転置時期について、検討書をもとに強度試験を実施し協議していたことや、原則1日5個の打設を30回転させる為の最も効率的な計画を立て、実施し、よい施工管理に努めていた。
95	◆完成検査時に、工事の流れ等についてパソコンを使用して、わかりやすい説明を心がけていた。
96	◆現地検査の際、受験者側で、各々の役割分担を明確に決めており、無駄のない流れで測定を行った結果、検査時間が大幅に短縮された。
97	◆マンホールの組み立て作業を行う際の足場について、独自に、安全を考慮したものを製作し、使用していた。

98	◆現場への乗り込み前に、協力会社による送り出し教育を実施して、安全教育に努めていた。
99	◆内装工事における接着剤の管理において、使用量が容易に判る適正な容器を用いて管理を行っていた。
100	◆施工計画書の作成で、工種毎にイラスト入りの計画書や詳細な施工チェック表を作成し、より良い施工管理や品質管理に努めていた。
101	◆保育園や小学校内の工事で、注意看板等にイラスト入りの児童向けのものを使用して、注意を促していた。
102	◆1枚の検査記録書に、検査結果・検査箇所図(配管図)・検査状況写真等をまとめて、わかり易く整理していた。
103	◆冬季間におけるコンクリート打設後の温度管理に、自動(記録)温度計を設置して、細やかな温度管理に努めていた。
104	◆工程管理は日々の管渠布設実績図と週間工程出来形(進捗)とをリンクさせて管理することで、早い時点でのフォローアップを可能とし、結果、実績を当初の進捗計画に戻していた。
105	◆公共ます設置予定のお宅8軒について、再度、水回りを調査し公共ます深さを検証して、手戻り防止に努めていた。
106	◆工事施工中写真は、写真撮影個所を平面図で案内し、確認個所の略図や拡大写真がこまめに添えられており、撮影目的や出来形確認が一目でわかる様に工夫され、丁寧に整理されていた。
107	◆出来形管理計画や品質管理計画は、表形式で作成されており、現場の施工管理漏れ、撮影漏れ等がないように工夫されていた。
108	◆管渠布設管理表で、日々の実測値を可視化しており、精度向上への活用や、社内的な情報の共有化に努めていた。
109	◆工事の進捗状況や危険個所を、週単位で看板に表記して周知を図ったり、鯉対策として、用水路に流出した舗装材に含まれる油を、吸着フェンスを張って回収したこと等、地域貢献に取り組んだ現場があった。
110	◆元請と下請間で「引き渡し・受領検査」を、事前に、手続きに沿って実施していた現場があった。
111	◆冬季施工に順応した施工割を工夫し、実行された結果、施工期間における労務の平準化が図られ、効率の良い現場管理が伺えた。
112	◆現場に住民が自由に書き込めるメッセージボードを設置して、地域住民とのコミュニケーションを図っていた現場があった。
113	◆現場に工事の施工内容の写真を展示する等して、工事概要の説明を積極的に行っていた現場があった。
114	◆本体フールの施工準備として、事前に仮水槽(ミニプール)を作成し、施工方法や検査方法の確認を行って、手戻りのない施工管理・品質管理に努めていた。
115	◆杭の解体工事において、残存杭位置図について、座標を用いた詳細な図面が作成されていた。
116	◆施工計画書、材料確認、社内中間検査は、組織的な取り組みがなされており、良好なチェック機能が働いていた。
117	◆大型車両の通行規制、道路土工、後追工事の施工性、施工時期等を総合的に判断して、当初施工計画時から、工事区域を4区間に分けて、進捗管理を適正に行っており、事前に仕事内容を良く熟知した施工計画書であり、実効性が伺えた。
118	◆転用土の埋戻し材について、自主的に、任意で土質性状試験を実施し、適正な土壌であることを確認後、施工に着手していた。
119	◆完成検査依頼書(下請け提出)、確認通知書、引渡確認書を、一連で整理していた。
120	◆現場踏査、設計図書の照査、事前調査(土質、地下水位)による検討で、より現場にふさわしい、工期短縮が図れる施工法の提案や、土砂崩壊防止と精度確保を考慮して、適用可能な推進方式への変更を提案していた。
121	◆法の意図を汲み取って、現場事務所だけでなく、施工現場にも掲示看板を設置していた。
122	◆合材5種類を現場で使用していたが、品質管理総括表も出来形同様に、工種毎、各種類毎に試験結果を一覧表で纏めており、テーターの「ばらつき」も一目で判るように工夫し、整理していた。
123	◆推進管(レジン)及びマンホール(抗菌仕様)の取扱い、保管について、実施記録、実施状況写真を添付しており、良好に管理されていたことが、伺えた。
124	◆推進区間2スパンにおいて、貫通確認を行った。今回は口径が大きいことから、特大の鏡が用意されており、すばらしい出来であることを確認した。(竣工検査心構え)
125	◆材料検査簿は搬入、検査数量のみを単に記載して終るのではなく、目視確認の検査項目を6項目程追加した調書として、活用していた。
126	◆推進工法(2工法)変更、薬注長、立坑径の変更等も、根拠資料をしっかりと示した提案をし、纏め上げた技術力はすばらしかった。
127	◆樹木の根を取り巻く客土について、設計にある「羽多屋産」を現地採取し、土壌分析を掛けたうえで、植栽土壌として不適切なことを指摘し、肥料の添加量等も含めた畑土への変更を事前に提案していた。
128	◆工程別で2回に渡り、違う検査員の元、検査が実施されていた。今回は専門工事ということで、外注塗装業者での自社検査も、社内検査の前に実施されていた。
129	◆社内の品質管理責任者及び監理受託者により、厳しい、きめの細かい現場監理が実施されており、全体的に躯体の精度も良かった。

130	◆災害時の為に、受水槽非常用給水口を設置するなど、緊急時などに対する配慮がなされていた。
131	◆月1回の店社安全パトロールが確実に実施されており、安全管理者のみならず、店社の上層部数人の目での安パトを、時折実施していた。
132	◆天井などの隠蔽部封鎖前に、関連業者共同で、施工状況を相互に確認しあっており、記録も整備されていた。
133	◆機械設備の改修工事において、目視不可の配管内の状況を、抜き取りにより確認しており、記録も整備されていた。
134	◆改修工事において、短いサイクルで、工程毎の検査が社内の第3者によって行われ、記録も整備されており、進捗確認・手戻り防止の成果が見られた。
135	◆建物の完成模型を作り、下請業者や学校関係者にも完成のイメージが想像しやすいように工夫し、工事の効率化を実施していた。
136	◆工事打合せ簿についても、見やすいように見出しやインデックスがついており、確認がしやすかった。
137	◆創意工夫の取り組み内容が、50項目あり、さまざまな箇所での工夫が見られ良好であった。